

78号

しんち

広報

8月1日現在

🏠	1,958世帯
♂	男 4,266人
♀	女 4,415人
合計	8,681人

52 / 9



とじておきましょう。

ぼくは〇歳

無 限 生 成

真弓字閨崎

加藤 広光 (賢治氏長男)

「ぼくね、歯ぐきのところがムズムズするの。歯がはいそうとうきは、誰もがそうなるそうなんだけど、とつてもかからしくていやなんだ。

たいていの人は、五カ月くらいから歯がはえてくるそうなんだけど、ぼくは八カ月だつていうのにまだはえてないんだよ。でも、歯がなくても、ぼくはなんでも食べちゃうんだ。

ところでね、十五日は敬老の日でしょ。ぼくにはね、おっきいじいちゃんとおちちやいじいちゃんがいるの。おっきい幸じいちゃんは今年八十五歳、剣道の名人なんだ。ふだんはおとなしい幸じいちゃんだけど、剣道の防具をつけた幸じいちゃんは、とつてもつよいんだ。

ぼくも幸じいちゃんみたいに、つよくなりたいなァー。」

〈今月の主な記事〉

- 敬老の日特集記事
- 臨時町議会
- カメラでこんにちは
- 新地・相馬地区
- 小学校水泳大会
- おしらせ



第六回臨時町議会が八月八日開かれ、町道中里上真弓線道路舗装工

町道中里上真弓線道路舗装工
申請負金約
町道壇真弓線道路改良工事請
負契約

これらの議案は、工事請負金額
が一千万円を超えるため、地方自
治法の規定により議会の議決を得
たものです。

中里上真弓線の舗装工事につい
て、舗装工事が始まった町道中里上
真弓線

第六回臨時町議会

電源開発調査

特別委員会設置などを可決

第六回臨時町議会が八月八日開かれ、町道中里上真弓線道路舗装工など三議案と、議員発議された電源開発調査特別委員会の設置などを可決しました。

可決された主な内容は、次のとおりです。

町道中里上真弓線道路舗装工
申請負金約
町道壇真弓線道路改良工事請
負契約

これらの議案は、工事請負金額
が一千万円を超えるため、地方自
治法の規定により議会の議決を得
たものです。

中里上真弓線の舗装工事につい
て、舗装工事が始まった町道中里上
真弓線

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法施行令の一部改正に伴い、議会が議決すべき契約の基準を三千万円以上に改めました。

電源開発調査特別委員会設置について

電力は、日常生活においても工業生産力の向上においても、欠くことのできない源動力ですが、相馬港背後地の開発が進むにつれ、



老後に
生きるよろこびを

—老人福祉週間 (15日~21日)—

九月十五日は敬老の日です。日本人の平均寿命は、近年の医学の進歩、公衆衛生の発達、栄養の改善などによって急速に伸びており厚生省が今年発表した日本人の平均寿命でも、男七十二・一五歳、女七十七・三五歳と、昨年より男で〇・三九歳、女で〇・四歳伸びています。

平均寿命の伸長に伴い、老人の数および総人口に占める割合が増加しつつあり、町でも六十五歳以上の人口が千六十人と総人口の十二割を占めています。

人口の老齢化は、今後も急速に進むことが予想され、行政面において老人福祉対策の整備が、ますます重要なものとなってきています。また、それと同時に、町民一人一人が老人問題を自らの問題として受けとめ、協力していくことがぜひとも必要です。

今月は「敬老の日」にちなんで町の主な老人福祉対策をとりあげてみました。

国民年金と
敬老年金

▲「寿学級」で熱心に講演をきき
いるおとしよりたち

老後の生活安定をはかるために実施されている国民年金は、年々改善され、今年も老齢年金が七月から、老齢福祉年金が八月からそれぞれ九・四割引きあげられました。

町内で国民年金を受給しているおとしよりは、老齢年金が五百三十九名老齢福祉年金が四百六十名で、年間一



敬老の日を元気にむかえる町内の八十歳以上のお年寄りには、一日現在推定で百六十名で、昨年より五名少なくなっています。

町では、この日にちなんで毎年記念写真の撮影と敬老祝金を贈っています。今年も十四日に各お

老人医療費の無料化と
健康診断の実施

町では、お年寄りのかたがいつでも気軽に医者にかかれるように、満七十歳(寝たきりの老人は満六十五歳)以上のかたを対象に、医療費の無料化を実施しています。医療費は、自己負担分の三割を国、県、町が負担するものですが、こうした補助には所得制限があるため、町では補助対象外のかたについても町単独で補助し、医療費の無料化をはかっています。

また、六十歳以上のおとしよりを対象に、毎年一回健康診断を無

元気な横綱
橋本 悌三さん

年寄りをまわり、長寿をお祝いすることにしています。

町内の最高齢者は、藤崎の橋本悌三さん九十二歳です。橋本さんは、息子の政三さん夫婦、孫二人の五人暮らし。毎朝六時半には起床、庭の手入れなどをしコップ一杯の

料で実施しています。これは、病気の早期発見、早期治療を目的に行うもので、今年も九月に一般検診、十月に精密検診を行う予定です。該当するかたは、積極的に受診しましょう。

家庭奉仕員の訪問

一人暮らしの老人や寝たきりの老人の家庭に家庭奉仕員が訪問し、食事や身の回りの世話、掃除せんたくなどをしたり、話相手になったりしています。

肉用雌牛の貸付

肉用雌牛の貸付は、おとしよりのかたたちが牛の世話をするので、趣味と実益をかねた生きがいのある老後をすごしてもらおうと始められた制度です。

借入れできるかたは、六十歳以上のおとしよりで、一人二頭まで借りることができます。借入期間は五年で、その期間中に生産した雌牛一頭を町に返還すれば、親牛は返さなくてもすみます。

老人クラブへの助成

老人クラブは、おとしよりの老後の生活を健全で豊かなものにし、生きがいを見いだすことを目的として結成されています。

現在町には十六の老人クラブがあり、千二百二十人の会員がそれぞれのクラブで活動しており、町では健全育成をはかるため、助成を行っています。

老人憩の家の設置

おとしよりのかたたちが気軽に楽しんでいただくために、老人憩の家を設置しています。老人憩の家の利用者は年々増え、昨年度は八千五百三十八人のかたが利用しています。

利用料金は、六十歳以上が百円、六十歳未満が五十円となっています。なお、月、木曜日は休みとなっていますのでご注意ください。

電力供給源の絶対量不足が予想されるため、電源開発について調査研究する特別委員会設置となったものです。

委員会の構成は次のとおりです。
(委員長) 穴戸喜代治(副委員長) 水戸四郎(委員) 寺島貞夫 加藤輝雄 鈴木勘一 松谷昭寿 武田正信 大和田伝 伊藤十治郎 菅野健太郎



道路・河川がきれい

七月は河川愛護週間、八月は道路を守る月間でしたが、町ではこの月間を通して、道路、河川愛護の作業奉仕が行われました。

作業奉仕には、各戸一名が参加して道路、河川に生い茂った草の刈取りや道路の砂利敷などが行われ、みちがえるほどきれいになりました。

暑い日中の作業奉仕、本當にごくろうさまでした。道路や河川は

平和の塔を建立

戦没者の冥福を祈る

終戦記念日の八月十五日、新地区遺族会の手によって平和の塔が愛宕神社境内に建てられ、除幕式が行われました。

平和の塔は、三十cm角、高さ四mの木製で、三十三年忌を契機に建てられたものです。

式には、遺族や町長、議長ら関係者七十名が出席、渡辺今朝雄新地区遺族会長の式辞につづいて阿部義雄さんが遺族を代表して除幕を行いました。

このあと三十三年忌の法要が行われ、参列した人達は太平洋で戦死した百五十柱の英霊の冥福を祈っていました。



▲「平和の塔」の除幕式

自転車の交通事故をなくそう

秋の全国交通安全運動 (9月21日~30日)

今年も秋の全国交通安全運動が、9月21日から30日までの10日間行われます。

- 今回の運動では
- ◇ 自転車利用者の事故防止
- ◇ こどもと老人の事故防止
- ◇ シートベルト着用の推進を重点目標に実施されます。

今年に入り町内で発生した交通事故発生件数は、7月末日現在で16件(13件)、うち2名(0)のかたが死亡し、16名(17名)のかたがケガをしています。()内は昨年同期

交通事故は、一瞬にして本人や家族に不安と苦痛をしいることになります。交通ルールを守り、悲惨な交通事故をなくしましょう。

年金だより

くわしくは農業委員会へお尋ねください。

物価スライド実施 農業者年金が引上げ

昨年からの支給がはじまった経営移譲年金は、順調に受給者が増え、町内ではすでに十四名のかたが受給しています。この年金の額は、昨年の法律改正で、今年一月から一・四八倍に引上げられました。この七月からさらに九・四割引上げられました。

まず保険料の完納を

今年一月に引上げられた年金額が、半年後にまた改善されたわけ、一層充実されましたが、この引上げられた年金を手にするには、必要な期間の保険料をキチンと納めていることが必要です。経営移譲年金は、①法律で決められた期間分の保険料を納めたう

改定された年金額 (経営移譲年金)

保険料を納めた月数	年金額(円)		(参考)月額(円)	
	改定後(7月から)	現行	改定後(7月から)	現行
60月(5年)	341,300	312,000	28,442	26,000
66月(5年半)	352,700	322,400	29,392	26,867
72月(6年)	364,100	332,800	30,342	27,733
78月(6年半)	375,500	343,200	31,292	28,500
84月(7年)	386,800	353,600	32,233	29,467
[参考]20年	682,700	624,000	56,892	52,000

税務だより

お年寄りや障害者と税金

九月十五日は敬老の日です。国では、お年寄りや心身障害者など社会的、経済的に弱い立場にある人に対して、いろいろな施策を行っています。

税金の面においても、次のような優遇措置が設けられています。▽年齢が六十五歳以上で、所得金額が十万円以下の人には、基礎控除などのほかに老年者控除として二十万円が所得金額から控除されます。また、国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給を受けている場合は、老年者年金特別控除として七十八万

円を収入金額から控除することができます。

▽七十歳以上のお年寄りを扶養している人は、老人扶養控除として所得金額から三十五万円を控除できます。(通常の場合は二十九万円)

▽心身障害者が受けられる特典として、所得税では障害者控除(一人当たり二十万円)、相続税では障害者の税額控除(七十歳に達するまでの年数に三万円をかけた金額)などがあります。そのほかにも、身体障害者が自ら運転する乗用車には物品税がかららないとか、身体障害者を多く雇用している事業所には設備などの償却費の割増しを認める措置がとられています。

未加入者は早く手続を

いま町内では三百九十人のかたが農業者年金に加入していますが、資格がありながらまだ加入の手続をしていない人が六十八人もいます。国民年金に加入している五十歳以上の農業経営主で、大正九年から昭和十年のそれぞれ七月から九月生まれの人は、今年の十月末まで手続をとり、時分の完成料をさかのぼって納め、以後六十歳になる前月分まで保険料を完納するようにすれば、年金がもらえます。まだ加入していないかたは、いますぐ加入しましょう。



▲あんこ地蔵の祭りには、あんこもちがつきもの。このもちを食べるとかきこが治るといふ。



▲供養に行われる盆踊りは、町内最後の盆踊りとして例年賑う。



▲あんこ地蔵は、昔、家山和尚によって作られたと伝えられる。

今月の「カメラでこんにちは」は、八月二十三日行われた小川の「あんこ地蔵」の宵祭りに出かけてみました。

毎年雨にたたられる宵祭りは、今年もいまでも雨が降りだしそうな空模様。

宵祭りでは盆踊りが行われ、参詣につめかけた人達が踊りの輪に加わり、ゆく夏を惜しんでいました。

▲賞品つきの盆踊りとあつて、仮装した踊り手も多い。



新地歌壇

たおやかな驚草の花ちやぶ台にゆるるをみつづるの畔恋う

加藤けさい

長雨の晴間に蒔きし大根の日毎にのびて秋を染しむ

荒 万

夏すさび日やけすぎたわが脚のあかがねいろに老いあらわなる

三宅 康

秋立ちてより雨続き啼くせみの声もいつしか消え去りにけり

岡元 三郎

もや深き関山峠より続く

ぶどう畑を越えて我が来ぬ

水戸 幸作

もの言わばなお背かれぬ娘のために 帰京のみやげとのえにたつ

宮西 とく

二十日余り出船見合はす日は積みぬ 秋立つ海の猛りやまざり

佐藤 一汀

アクセント我が住む町に似てくれ

ば 安らぎ覚ゆ旅の車中に

目黒ます代

孫に昼餉の箸しはしおく

太田智恵子

霧雨のいつしか止みて西空にあかねさしきぬ秋立つ夕べ

小松 栄子

征きし日の思影清く比島にて

果てたる夫の三十三回忌

荒 たまじ

逆らいのことばに会えばたじろぎ

て 幼なき影を探がさんとす

目黒美津英

好記録が続出!

新地・相馬地区 小学校水泳大会

新地・相馬地区小学校水泳大会が、八月九日、新地町勤労者体育センターのプールで行われました。大会には、新地、相馬地区の小学校十三校から二百九十名が参加、好天のもと十三種目に熱戦を展開しました。

今回の大会では、六年男子二十五メートルなど五種目に大会新記録がでるなど好記録の連続で、スタンドにつめかけた父兄達は、チビッコスイマーの力泳に大きな声援をおくっていました。町内の各学校の成績は、次のとおりです。

――六年生――
▲好記録が続出した新地・相馬地区小学校水泳大会



維新前後

⑧

八月二十日の御殿山の戦いで、松山藩兵は三十九名が戦死、この中には老翁があり、両刀をかざして最期までなばなく戦った。また総隊長の鈴木市郎左衛門は大戸浜観音寺山の古松の下で、自刃し果てた。この日官軍は勢いに乗って新地の町まで追撃し、民家に火を放った。

二十一日は戦いがなく、仙台藩兵に「奮激して駒ヶ嶺はもろん中村城までも乗取るように」と酒がふるまわれた。しかし、これ以後休戦が続いた。官軍側は続々増援部隊が到着し、仙台追討の兵力が強化されていった。

だが旗巻方面に、アームストロング砲などで装備された仙台の精銳が集結し、官軍の側背をおびやかしていたから、官軍は後顧の憂いを一掃するため、九月十日いっせいに攻撃を行った。

町史への誘い 新地近代史抄

のみであった。

八月二十七日から仙台城に二門以下の要人が集り、御前会議が開かれた。和か、戦いか。しかし評議は空転が続き、結論がでない。

こんなとき幕府の海軍奉行榎本武揚が、軍艦八隻、兵三千名をひきいて、寒風沢に着いた。これにはフランスの軍事教官団の士官二名も同行していた。このため、主戦派の松本要人らは勢いをもちか



えした。九月四日、藩主慶邦は再び一門以下を招き、評議を重ねた。このとき、攘夷を唱えたかどで藩政から遠ざけられていた遠藤充信(「宿老」は鍔直垂、烏帽子姿で登城し、次のような建白書を提出した。「文久二年五月二十二日より本年四月三日ニ至ルマテ建白幾十回ナシテ事ココニ及ベリ、今日ニ至リ再ビ往事ヲクリ返ス益ナキ所ナリ、目前ノ急務ハ速カニ降伏シテ罪ヲ謝スルノホカナシ。モシ充信ノ言ヲ以テ不義不忠ト認メ給ハバ即刻充信ノ血ヲ以テ御佩刀ニ注ガセ給エ」奏上し終えた充信の頬には、涙がとめどなく流れていた。(目黒 美津英)

お知らせ

土地取引には

届出が必要です

一定面積以上の土地の売買などの契約をするときは、国土利用計画法によって、売る人も買う人も必ず知事に届出をすることになっています。

町内の場合、五千㎡以上の土地取引が届出の対象となります。届出をしないで契約すると、罰せられることがありますので、十分ご注意ください。

くわしくは、役場企画開発課にお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

行政相談

役所に対する苦情や、相談、意見を持ちながら、関係の役所には申し出にくい、どこに申し出たらよいかわからないなどお困りのかたは、気軽に地元の行政相談委員か、福島行政監察局の行政相談所にお申し出ください。取扱いは無料です。



あなたの街です。自然です。

吸がらの投げ捨てはやめましょう。



料です。
行政相談委員
遠藤 伝

谷地小屋宇新地一―二二

〇二二二八

福島行政監察局

〒九六〇福島市霞町一―四六

〇〇二四五 三四―一一一

歌会始

お題は「母」

昭和五十三年歌会始のお題は、「母」と定められました。歌には母の語意のある他の言語を用いてもよいとされますが、人間をはじめ生命のある動物の女親を題材としたものに限られます。

〇詠進要領

- (1) 詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限りません。
- (2) 用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。
- (3) 書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(ふりがなつき)

生年月日及び職業を書いてください。

〇詠進の期間

九月一日から十月十一日まで

(当日消印有効)

〇あて先

〒100東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁とし、封筒に詠進歌と書き添えてください。

今月の納税

国民健康保険税 第三期

国民年金 第二期

郵便物を正確にお届けするには

郵便局では、大切な郵便物を常に正確、迅速、安全に、皆さんのおてもとに届くよう一生懸命努力しています。

しかし、最近、住所が不完全で到着する郵便物があり、特に住所氏名をカタカナで記載し、字名、番地のない郵便物、又は誤って記載している郵便物がふえ配達に苦慮しています。

町内には、同性同名のかたも多く、住所、氏名が不完全ですと、せっかくの郵便物を差出人にお返しすることになりますので、みなさんの住所、氏名は、正確に差出人に伝えておきましょう。

また、みなさんが郵便を出す際にも、住所、氏名は詳しく記載し出すようにしましょう。

郵便局

防災の日
災害対策はいつも隣近所が力を合わせて



七月届出

▽出生(届出は十四日以内に)

おめでとございます

将史	前沢 正一 釣師
生史	荒 寛幸 釣師
和博	大槻 一雄 小川
さゆり	荒 幸男 作田
友克	横山 昭雄 明地
美奈子	菅原 憲彦 新地町
聡子	横山 昌一 今泉
好子	角田 直義 原
和之	石田 貢 新地町
由美	早坂伊佐男 杉目
智津子	荒 孝男 作田
智恵子	小野 貞夫 中島
めぐみ	荒 富雄 崎浜

▽死亡(届出は七日以内に)

おくやみ申し上げます

加藤 ユキノ	75	杉目
森 健策	85	中島
斉藤 シモヨ	74	藤崎

町長日誌

楊中二

七月 12日	町政懇談会(藤崎)
13日	消防補償等組合会議 町政懇談会(岡)
14日	全国簡易水道会議理事會
16日	町政懇談会(高田)
17日	町民ソフトボール大会
18日	町民グラウンド造成陳情
19日	全国ほ場整備大会
21日	海開き
22日	町政懇談会(小川)
25日	区長會
26日	県道路協會總會 町政懇談會(今泉)
28日	全国町村會臨時總會
30日	町政懇談會(釣師 作田)
31日	相模地区消防ポンプ操法大會
八月 1日	新沼干拓土地改良区役員懇談會
2日	宇多川ダム調査東北農政局 來町 町政懇談會(福田 齋集出荷所)
3日	簡易水道協會監査及役員會
4日	新地町産業青年協會議會懇談會(公民館)
5日	宇多川ダム建設促進協會議會總會 町政懇談會(岡)
6日	自衛艦掃海艇相馬港入港表敬訪問
8日	臨時町議會
9日	新地相馬小学校水泳大會 町政懇談會(富倉)